

図書館だより

2018/夏号



友だちの、イチオシ

苦手克服！みんなでプレゼンの達人になろう！

今年度も、キャリア教育部からたくさんの本を寄贈してもらいました。

職業に関する本や、エントリーシートの書き方、リーダーシップやディベートについてなど、進学、就職についてだけでなく、自分の考えをはっきりさせたり、自信のないところを向上させるポイントが書かれた本もあります。

課題研究での発表などプレゼンする機会が増えて、困っている声を時々耳にします。そこで、それぞれのタイプの人に役立つ寄贈本を紹介します！自信をつけて、堂々とプレゼンしよう！

タイプ A

人前で話すのが苦手！

『1分のスピーチでも、30分のプレゼンでも、人前であらずに話せる方法』
『コミュニケーションスキル』

タイプ B

センスがないから、きれいでわかりやすい資料が作れない！

『なるほどデザイン』
『やっちはいけないデザイン』

タイプ C

実は、パワーポイントの使い方がイマイチわからない…

『これから始めるパワーポイントの本』
『1時間でわかるパワーポイント』

タイプ D

緊張をしないから、出たとこ勝負。だから話が前後しちゃう～。

『ココヨ式1分間で伝わる話し方』
『いまの説明、わかりやすいね！と言われるコツ』

タイプ E

プレゼン好き。だから、もっとみんなに聞いてもらいたい！

『プレゼンは「目線」で決まる』
『TEDトーク世界最高のプレゼン術』

あなたのお気に入りの一行は？二階堂 & 分教室図書委員が選んだ1冊は？



二階堂高校と分教室の図書委員と本好き有志が、二階堂図書館にある本から、心にぐっと来た「一行」またはひとかたまりの文と、選んだ理由を書きました。5月30日の読書イベントでは、代表15人がそれを発表し、観覧者の投票によってチャンプ本が決定しました。

今年度から分教室の図書委員会活動が始まり、合同イベントとなりました。ふたりの図書委員長長の息のあった司会が光った会になりました。緊張した発表者も、それぞれの委員長長の声かけにホッと気持ちが和んだのではないかと思います。

本の紹介に耳を傾け、どの本に投票しようか悩む観覧者の姿も印象的で、学校も学年も性別の垣根のないたくさんの「本好きさんたち」がイベントを楽しんでくれました。

チャンプ本

『あなたに友だちがない理由』
/ 笠原真澄著 新潮社

お気に入りの一行

あなたは誰にも好かれようとする必要はない。
あなたは、あなた自身に好かれればいいんです。
何よりも大切なのは自分を好きになってあげること。
自分から好かれる自分になること。

人の目を気にしない自分でいたいという発表者の気持ちを素直に語った(一行を選んだ)「理由」が共感をよんで、多くの票を集めました。みんな様々な悩みをもっています。少し心が疲れたときは、ページを開いてみてくださいね。



美術部とコラボ！

チャンプ本を、美術部が「読書画」として表現してくれました。

イベント後数日で仕上げたので、準備期間が短く、イメージするのも難しかったと思いますが、見事内面のもやもやを表現して描いてくれました。美術部のみなさん、どうもありがとうございます！

『風の歌を聴け』 / 村上春樹 講談社文庫

この本は、私には少しむずかしかったです。文の書き方や世界観がとても不思議に感じ、とても夢中になりました。何度も読めば読むほど、新しいことに気付くことのできる本だと思いました。
2年2組 女子

『クビキリサイクル—青色サヴァンと戯言遣い—』

／西尾維新 講談社

読み進めるたびにキャラクターの関係やつながりを知ることができてわくわくしました！絶海の孤島でなにが起きるかぜひご覧ください。戯言シリーズよろしくね！
2年1組 匿名希望